

技術委員会報告 J F A中学校女子サッカー部フェスティバル

9月24日(土)に熊本県甲佐町にある「Kパーク甲佐」で行われた中学校女子サッカーフェスティバルに、普段中学校のサッカー部で男子生徒とのプレーがほとんどの女子選手に、女子のチームとしてのプレーを経験させることで、更にサッカーの楽しさを経験させようと昨年度から開催している「山口県中体連女子スクール」から選手9名、サポート高校生3名、指導者4名が参加しました。



始めに、広島・山口・佐賀・熊本・鹿児島各F Aから集まった選手でアイスブレイク・ウォーミングアップを行いました。最初は緊張していた様子でしたが、アイスブレイクでコミュニケーションも増え、続いて行ったウォーミングアップでは、顔を上げて相手とコミュニケーションをとってパスすることや、パススピードなど質の高いパスができるように取り組んでいました。



次に4グループに分かれ、グループごとに他県の選手同士で4人一組のチームを作りました。そして、『コミュニケーションをとる・ゴールを目指す・サッカーをする』ことをテーマにクワトロゲームを行いました。ゲームの後、基本的な技術であるパス&コントロールのトレーニングを行いました。スクエアパスにおいて、コントロールから次の相手へパスを出す練習ですが、ウォーミングアップやクワトロゲームでキーファクターとして挙が

っていた「顔を上げてコミュニケーションをとる」「相手がほしい場所へパスを出す」ことが様々な条件が加わるとうまくできない選手がほとんどでした。

その後、8人制でグループ対抗の試合を行い、その後F Aの対抗戦として1試合15分のゲームを行いました。全てのF Aと試合を行い、山口F Aは3勝1敗の成績でした。

試合では、選手からは仲間をよく観てパスを出すことや、点を取ったときの笑顔をたくさん見ることができ、指導者も充実感を味わうことができました。加えて、もしもの時にということで参加してくれた高校生も審判やアシスタントコーチ役を快く引き受けてくれましたし、他のF Aから来ていた高校生とも仲良くなるなど、貴重な経験を積めたのではないのでしょうか。そして何より、朝早くから一日中共に活動した選手たちが本当に仲良くなったこと、これが何よりの成果であったと感じました。



コロナ禍の中、昨年から月一回の活動もままならない状況の『中体連女子育成スクール』でしたが、やっとのことで「女子選手のチーム」として他県との交流、という活動ができたことは今後の活動に向けて大きな一歩を踏み出せたと思います。12月には、山口F Aが主催して、同じ活動を行う近隣のF Aと交歓会を行うよう計画しています。参加している選手たちに『女子チームでの活動』を経験させ、更にサッカーを好きになることができるようにしていきたいと考えています。



中学校サッカー部で男子部員と多くの時間を過ごす女子部員、サッカーに取り組みたいけど、近くにチームがない女子中学生、これから中学校に入学するけれど、サッカー部がなくて困っている女子小学生・・・この事業に興味をもった人がいましたら、(一社)山口県サッカー協会へ連絡してください。